

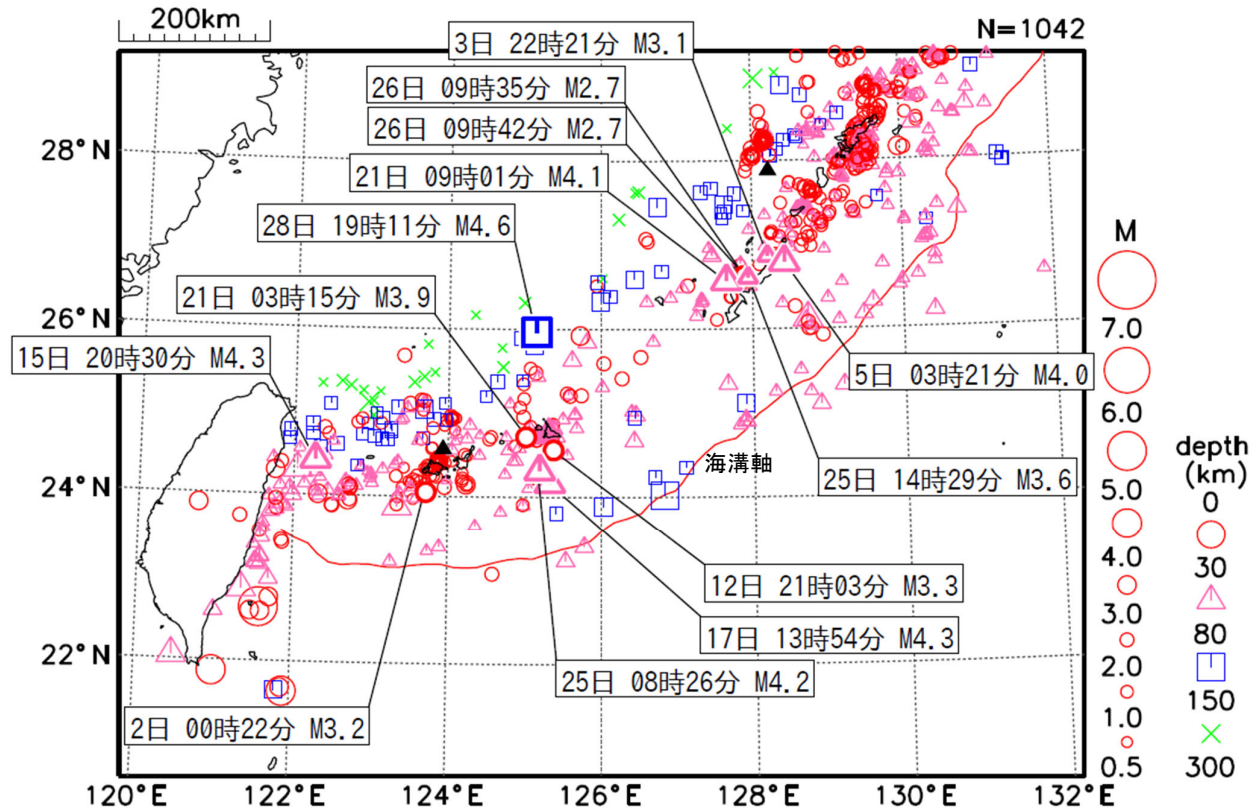
沖縄地方の地震活動

令和8年（2026年）8月

沖縄気象台

図1 沖縄県及びその周辺の震央分布図

2026 08 01 00:00 -- 2026 08 31 24:00



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
▲：活火山

沖縄県内で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に沖縄県内で震度1以上を観測した地震は13回（7月は6回）でした。

8月の主な活動は次のとおりです。

5日03時21分、沖縄本島近海の地震（深さ31km、M4.0）により、名護市から鹿児島県与論町にかけて震度2～1を観測しました。

21日09時01分、沖縄本島近海の地震（深さ47km、M4.1）により、恩納村で震度3を観測したほか、沖縄本島から久米島にかけて震度2～1を観測しました。沖縄本島で震度3を観測したのは、2026年5月20日に沖縄本島近海（沖永良部島付近）で発生したM5.9の地震以来です。

25日14時29分、沖縄本島近海の地震（深さ37km、M3.6）の地震が発生し、沖縄本島で震度2～1を観測しました。

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

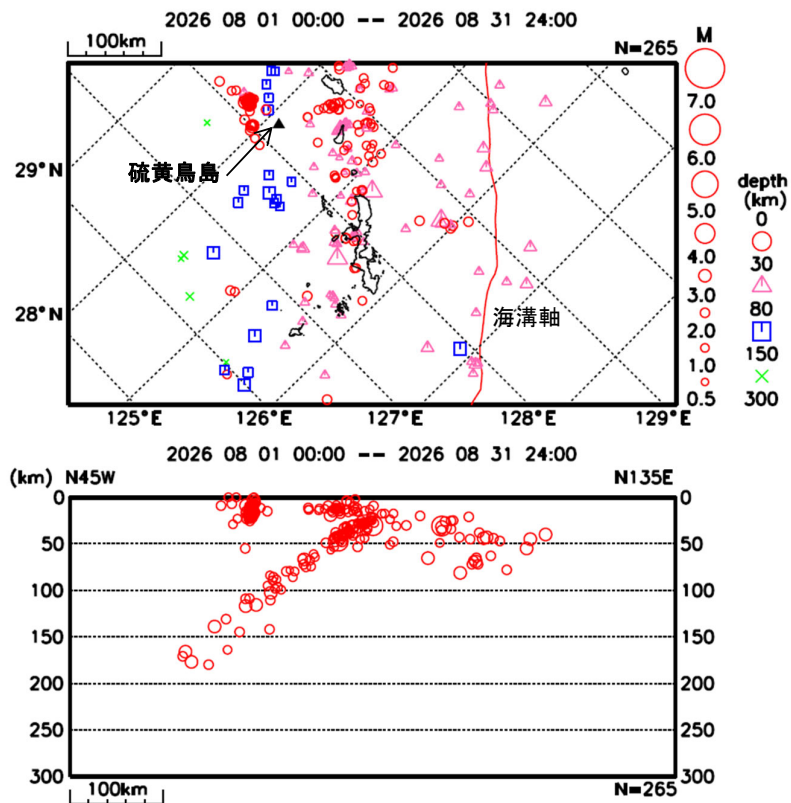


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

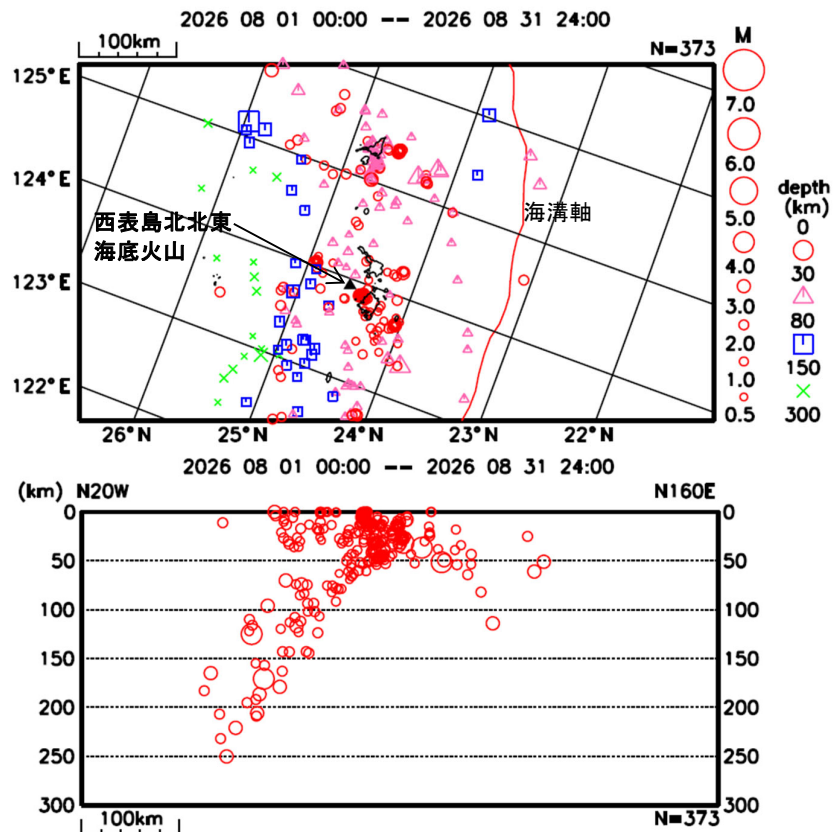
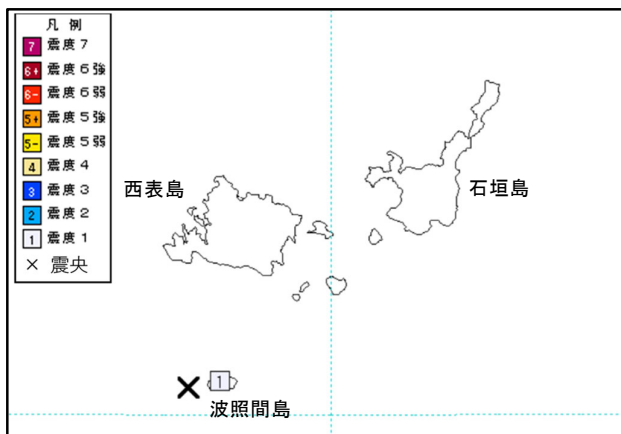
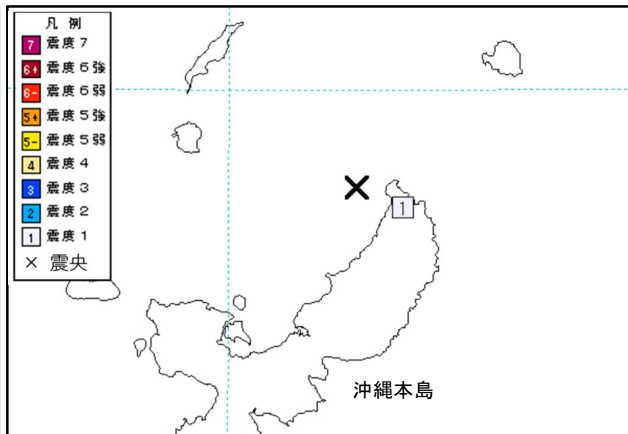


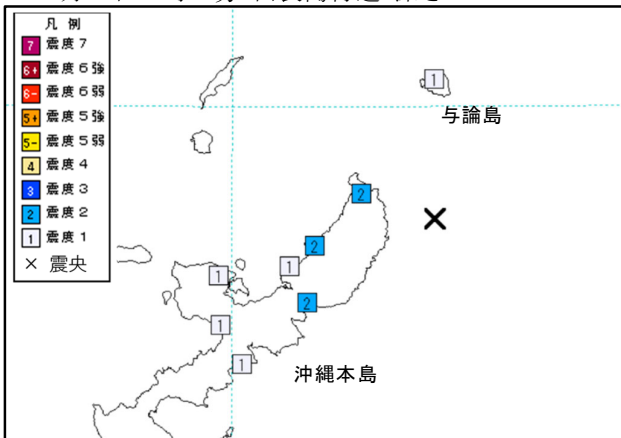
図3 震度分布図



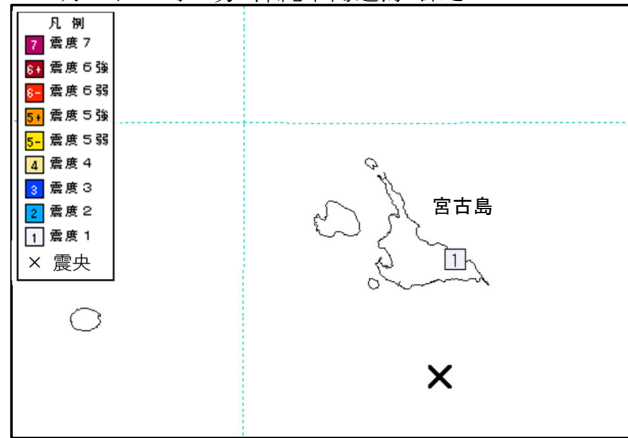
8月2日00時22分 西表島付近 深さ14km M3.2



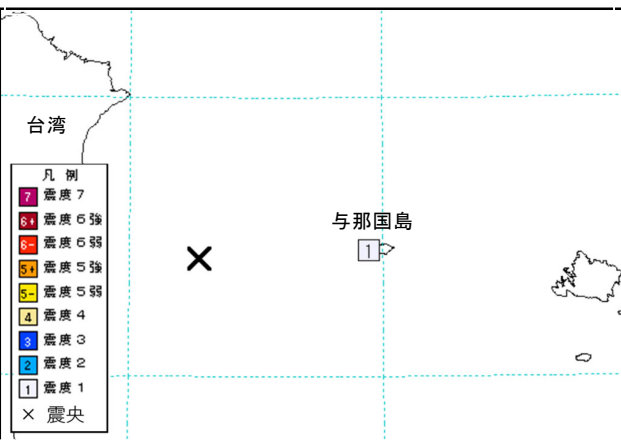
8月3日22時21分 沖縄本島近海 深さ31km M3.1



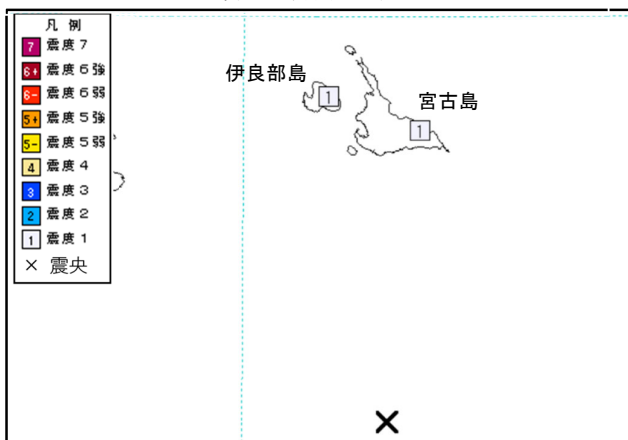
8月5日03時21分 沖縄本島近海 深さ31km M4.0



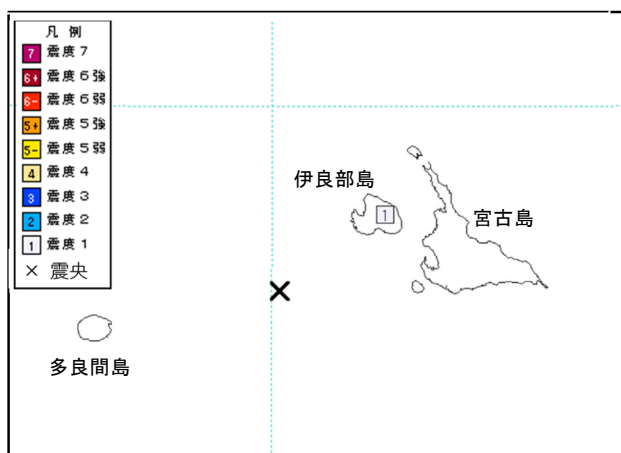
8月12日21時03分 宮古島近海 深さ28km M3.3



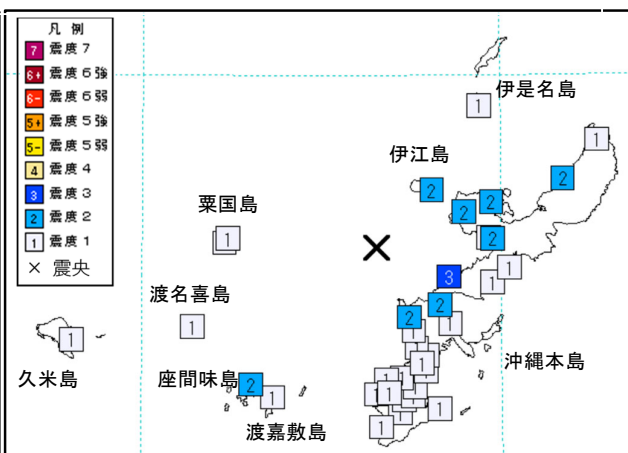
8月15日20時30分 台湾付近 深さ67km M4.3



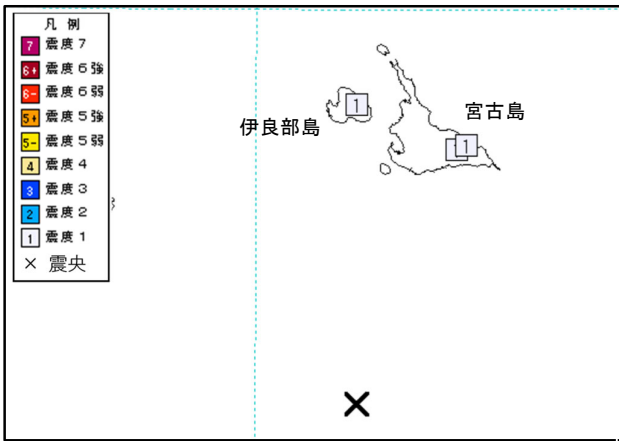
8月17日13時54分 宮古島近海 深さ52km M4.3



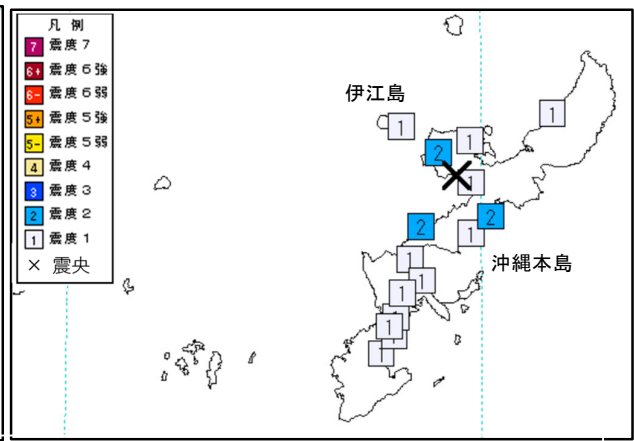
8月21日03時15分 宮古島近海 深さ29km M3.9



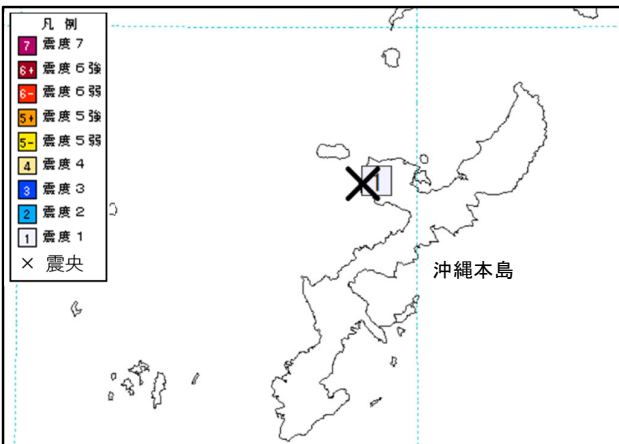
8月21日09時01分 沖縄本島近海 深さ47km M4.1



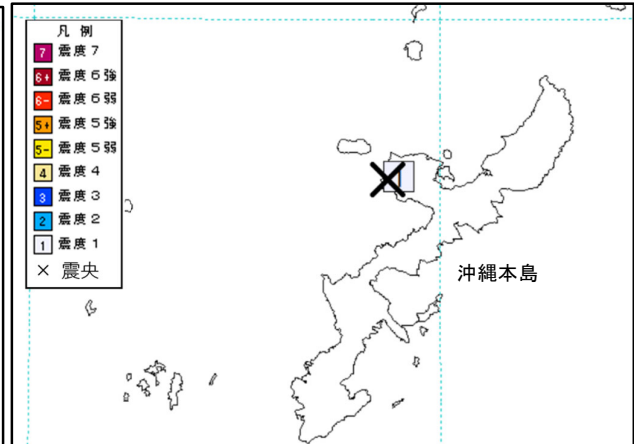
8 月 25 日 08 時 26 分 宮古島近海 深さ 37km M4.2



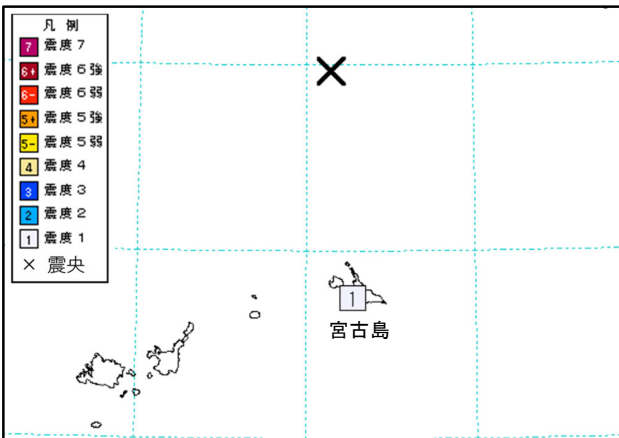
8 月 25 日 14 時 29 分 沖縄本島近海 深さ 37km M3.6



8 月 26 日 09 時 35 分 沖縄本島近海 深さ 4 km M2.7



8 月 26 日 09 時 42 分 沖縄本島近海 深さ 4 km M2.7



8 月 28 日 19 時 11 分 宮古島北西沖 深さ 125km M4.6

表 1 沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震の表（期間 8 月 1 日～8 月 31 日）

震源時 各地の震度	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
2026年08月02日00時22分 沖縄県 震度 1：竹富町波照間	西表島付近	24° 02.9' N	123° 42.9' E	14km	M3.2
2026年08月03日22時21分 沖縄県 震度 1：国頭村奥	沖縄本島近海	26° 51.9' N	128° 11.9' E	31km	M3.1
2026年08月05日03時21分 沖縄県 震度 2：国頭村奥, 国頭村辺土名*, 東村平良* 震度 1：名護市豊原, 名護市港*, 大宜味村大兼久*, 今帰仁村仲宗根* 鹿児島県 震度 1：与論町茶花*	沖縄本島近海	26° 47.3' N	128° 25.5' E	31km	M4.0
2026年08月12日21時03分 沖縄県 震度 1：宮古島市城辺福北	宮古島近海	24° 33.6' N	125° 22.4' E	28km	M3.3
2026年08月15日20時30分 沖縄県 震度 1：与那国町久部良	台湾付近	24° 25.2' N	122° 16.5' E	67km	M4.3
2026年08月17日13時54分 沖縄県 震度 1：宮古島市城辺福北, 宮古島市伊良部前里添	宮古島近海	24° 09.7' N	125° 19.5' E	52km	M4.3
2026年08月21日03時15分 沖縄県 震度 1：宮古島市伊良部前里添	宮古島近海	24° 42.9' N	125° 00.8' E	29km	M3.9
2026年08月21日09時01分 沖縄県 震度 3：恩納村恩納* 震度 2：名護市港*, 国頭村辺土名*, 今帰仁村仲宗根*, 本部町役場*, 伊江村東江前* 読谷村座喜味, 座間味村座間味*, うるま市石川石崎* 震度 1：名護市宮里, 名護市豊原, 国頭村奥, 宜野座村宜野座*, 栗国村浜, 栗国村役場* 伊是名村仲田*, 那覇市樋川, 那覇空港, 那覇市港町*, 宜野湾市野嵩* 浦添市安波茶*, 糸満市潮崎町*, 嘉手納町嘉手納*, 北谷町桑江* 北中城村喜舎場*, 中城村当間*, 西原町与那城*, 与那原町上与那原* 南風原町兼城*, 渡嘉敷村渡嘉敷*, 渡名喜村渡名喜*, うるま市みどり町* 八重瀬町東風平*, 南城市知念久手堅*, 久米島町謝名堂	沖縄本島近海	26° 34.1' N	127° 39.1' E	47km	M4.1
2026年08月25日08時26分 沖縄県 震度 1：宮古島市城辺福北, 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市城辺福西*	宮古島近海	24° 18.7' N	125° 11.6' E	37km	M4.2
2026年08月25日14時29分 沖縄県 震度 2：名護市豊原, 本部町役場*, 恩納村恩納* 震度 1：名護市港*, 国頭村辺土名*, 今帰仁村仲宗根*, 宜野座村宜野座*, 伊江村東江前* 宜野湾市野嵩*, 沖縄市美里*, 北中城村喜舎場*, 中城村当間*, 西原町与那城* うるま市みどり町*, うるま市石川石崎*	沖縄本島近海	26° 36.4' N	127° 56.5' E	37km	M3.6
2026年08月26日09時35分 沖縄県 震度 1：本部町役場*	沖縄本島近海	26° 38.9' N	127° 51.9' E	4km	M2.7
2026年08月26日09時42分 沖縄県 震度 1：本部町役場*	沖縄本島近海	26° 39.0' N	127° 52.2' E	4km	M2.7
2026年08月28日19時11分 沖縄県 震度 1：宮古島市下地*	宮古島北西沖	25° 57.9' N	125° 08.9' E	125km	M4.6

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/now/memo/sougou.html>

沖縄地方の繰り返し地震

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-917-7927

11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」

・津波「TSUNAMI」は「地震などによって引き起こされる巨大な波」を指す世界共通語です。

○津波防災の日 世界津波の日

平成23年の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波により多くの人命が失われました。これを受けて、津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「**津波防災の日**」として決められています。

11月5日は、江戸時代（1854年）に中部地方から九州地方の太平洋沿岸に大きな津波被害をもたらした、「**稲むらの火**」※のモデルにもなった**安政南海地震**の発生した日に因んだものです。

※「稲むらの火」とは・・・1854年11月5日、安政南海地震により紀州藩広村（現在の和歌山広川町）を津波が襲った時に、濱口梧陵は、収穫したばかりの稲を積み重ねた「稲むら」に火を放ちました。この火を目標に、暗闇の中で逃げ遅れていた村人たちを高台へと誘導し、津波から命を守ることができました（何よりも命が大切（**ぬちどう宝**））ということを教えています）。



○日頃から津波に備える

地震や津波等の自然災害は、いつ発生しても不思議ではありません。いつ津波が発生しても身を守ることができるように、日頃から色々な場面を考えて備えておきましょう！

☑危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。

☑避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。

☑訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。



○「津波防災の日」「世界津波の日」の取り組みの一環として、緊急地震速報の訓練を実施します。

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。内閣府、消防庁及び気象庁では、**11月5日（木）10時00分頃**に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。実際の地震が起きた際に適切な防災対応ができるように、この機会に身を守る行動を体験してみましょう。詳細は下記 URL をご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/kunren.html>



地震に関する情報は
沖縄气象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄气象台

Q 検索

